

みやぎ社保協 FAXNEWS

2022年10月28日 FRI No.926

「人権としての社会保障制度」 の運動推進を！

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13
宮城県社会保障推進協議会
Tel 022-223-0566 / Fax 022-223-0977
e-mail miyagisyahokyo@bz04.plala.or.jp

年金引き下げ違憲訴訟 仙台高裁判決 不当判決 「請求却下」



(写真/秋田・宮城県両原告団)

10/20(木)国が年金の支給額を段階的に引き下げたのは、最低限度の生活を保障する憲法に違反するなどとして、宮城県などの受給者が国を訴えた裁判で、仙台高等裁判所は1審に続いて訴えを退けました。

この裁判は、年金の支給額が法改正によって2013年から段階的に引き下げられたことについて、宮城県と秋田県の受給者20人が「最低限度の生活を保障した憲法に違反する」などとして引き下げの取り消しを求める裁判を起し、1審の仙台地方裁判所は、去年5月、訴えを退けていました。

判決後に行われた報告会では、判決に対する声明を出しています。

地域医療を考える会(白石)例会 私たちが求める地域医療を求めて



(写真/地域医療を考える会例会)

10/22(土)地域医療を考える会(白石)例会が開かれ、会員等11名が参加しました。

この間、病院組合では、奈良の医療法人を指定管理者に正式決定するなど、大きな動きが続き、今後の考える会の取り組みについて議論が行われ、11/13(日)予定されている住民説明会に向けての対応の検討や、住民に対しての独自の後方を進めていくなどが議論されました。例会では、指定管理者法人のパフレットなども紹介されましたが、山田市長が掲げる「周産期医療復活」は、この法人には周産期医療を伴う診療科を持つ病院はありませんでした。



中央社保協. 認知症の人と家族の会主催
介護・認知症なんでも無料電話相談
2022年11月11日(金) 10:00-18:00

☎0120-110-458